

令和4年度(後期) 球美中学校 学校評価

生徒・保護者・職員ともに4段階で評価。「4:そう思う」「3:ややそう思う」の肯定的な評価をつけた人の割合が69%以下を課題、80%以上を成果としてとらえ、また前期とも比較し分析考察を行っています。

成果:生徒・保護者・教師ともに80%以上の項目 ※項目24, 25, 26, 27, 28は、生徒項目には無し

- 4.「先生は、毎日の授業をわかりやすく丁寧に教えてくれる」
- 6.「先生は、やって良い事と悪い事をきちんと指導してくれる」
- 7.「先生は、安全や健康に充分気をつかい言葉かけしてくれる」
- 12.「学校生活のきまりを守って生活している」
- 15.「かぜ、インフルエンザ等の病気や熱中症にかからないように、日頃から体調管理を心がけている」
- 26.「授業参観や三者面談、PTA作業、学校行事には可能な限り参加している」
- 27.「学校からのお知らせや文書、連絡事項は、時期が適切でわかりやすい」

課題:生徒・保護者・教師ともに69%以下の項目はないが課題と思う項目

- 2.「環境整備や整理整頓を行い学習環境を整えている」についての生徒の評価が前期より12%下がっている。 →【総】
- 8.「授業内容が理解されている」については、三者とも向上しているが、さらに向上が必要。 →【知】
- 13.「私は、毎日元気な声で心をこめたあいさつをしている」は、生徒の評価が低い。 →【徳】
- 14.「球美中はいじめのない学校」について、生徒の評価は78%。 →【徳】
- 16.「体力テストの結果から何を鍛えればいいのかわかる」について、生徒の評価は下がり、職員の評価は上がっている。
- 17.「基本的生活習慣(ことばづかい、早寝早起き、マナー等)」について、生徒の評価が前期より8%下がっている。 →【体】
- 19.「私は、保護者と自分の将来の夢や希望について話し合っている」は、前期も後期も生徒の数値は低い。 →【家】
- 22. 地域の行事やボランティア活動に積極的に参加していないと答える生徒は60%。 →【郷】

課題への対応

- 【知】 今後も生徒の現状をしっかりと把握し、特にB評価に達していない生徒への手立てとともに全生徒が自分の成長を感じ取れる指導を行い、PDCAをしっかりと行う。(キャリアパスポートも活用)
何のために今勉強するのか、これから何が必要になるのか生徒に伝えるキャリア教育が必要
- 【徳】 あいさつは、なぜ必要なのかを考えさせ、生徒が中心となってあいさつを活性化できるような取組を行い、あいさつの大切さを実感させ、教師もあいさつを意識する必要がある。
また、いじめについては、少し改善傾向にあるが、今後も「いじめ防止のための基本方針」に則り、全職員でいじめの基本認識を共通理解し、未然防止と早期発見・解消に取り組むとともに、いじめが認知された場合の的確な早期対応に組織体制で取り組み、生徒が安全で安心して学校生活を送れる様に努力する。
- 【体】 体育の授業や部活動を通して、自分に必要な体力は何なのかを考えさせ、トレーニング方法を教えていく必要がある。
- 【郷】 地域の活動が再開してきているので、積極的に参加するように促し、生徒一人一人が持続可能な地域社会の創り手となるよう資質・能力を確実に育んでいく。
- 【家】 家庭で生徒が、自分の将来の夢や希望について話せるように、保護者へのいろいろな情報提供を行い、学校と家庭地域の連携推進を図る。
- 【総】 学習環境の整備について、生徒は何を必要と感じているのか把握する必要がある。